

公益社団法人 蓮田市シルバー人材センター 2026年度（令和8年度）事業計画

I 基本方針 ～運営から経営へ～

少子高齢化が進み人口が減少している中で、高齢者が地域社会の担い手として活躍することが求められています。このような中で、地域に密着した就業機会を提供することなどにより高齢者の生きがいと居場所をつくるシルバー人材センターの役割は重要で、寄せられる期待は一層大きなものとなっています。

一方、再雇用制度や定年制の延長等により、センターへの新規入会者の確保が難しい状況が続いております。

また、インボイス制度の導入、フリーランス法施行への対応、これに伴う包括的契約への移行、公益法人制度の改正による財政規律の緩和やガバナンスの強化、公益法人会計基準の見直し等、センターを取り巻く環境は著しく変化しております。

このような変化に適切に対応し、センターが持続的に発展しながら地域に貢献していくためには、設立当初から掲げる「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、経営感覚を持って事業を推進していくことが大切と考えます。

当センターにおいては2023年（令和5年度）から始まる5ヶ年度の中期計画「第3次事業推進計画」を基本に運営して参りましたが、この度、上部団体である全国シルバー人材センター事業協会の「新たな仲間づくり計画」に基づき目標数値を上方修正することと致しました。

令和8年度にあっては重点課題を次のように定め、会員、役員、職員一丸となり具体的かつ着実に取り組んで参ります。

- 会員の増強及び就業機会の拡大
- 安全・適正就業の徹底
- 地域に根差したセンターづくり
- 持続的に成長可能な経営基盤づくり

なかでも活力ある事業運営のためには会員の拡大が不可欠であり、最重要課題として捉え、入会の促進、退会の抑制、就業機会の確保、効果的な広報活動等、あらゆる角度からその実現に向けた取り組みを行います。

また、安定した事業運営に欠かせない取り組みとして、安全・適正就業の徹底に努め、会員が安心して就業できる体制を整備します。

さらに、関係機関との連携の強化を図るとともに、ボランティア活動等を通して地域社会との信頼関係を確立し、当センターが地域になくてはならない存在となるよう努めます。

そして、会員制組織であるシルバー人材センターが以上の目標を達成するための基本理念「自主・自立」「共働・共助」の行動原則に基づき、会員が主体的に取り組める運営を目指します。

自主・自立 センターを自分たちのこととして考え、自分たちの力で育てる

共働・共助 共に働き、互いに助け合い、より良い環境整備に取り組む

Ⅱ 事業内容

1 会員の増強

活力ある事業運営のためには会員の拡大が不可欠であり、新規入会の促進及び退会の抑制に関する取り組みの実施及び多角的な普及啓発活動を展開することで会員数の増加を図ります。なかでも高齢者人口の男女比率からも、伸びしろが大きい女性会員の取り込みは重要で、現在全国平均を下回っている女性会員の全体に占める割合を第3次事業推進計画期間中に30%にまで高めるよう努めます。

また、各種研修・講習を実施し、技能やマナーの向上を図り、発注者の期待に十分応え得るよう努めます。

なお、新規入会の促進や退会の抑制のために必要な就業機会の確保や、未就業会員の就業促進については「2 就業機会の拡大」の項で、退会抑制の効果が期待できる「会員の生きがいがづくり」にもつながるボランティア活動の推進については「4 地域に根差したセンターづくり」の項で述べることにいたします。

- (1) 入会説明会の開催及び内容の充実
- (2) 入会促進キャンペーンの検討
- (3) 会員による知人、家族への入会勧奨の強化
- (4) センターPRイベント開催及び地域イベント参加による普及啓発
- (5) 会員・市民対象の講座の実施
- (6) 「会員の居場所づくり」の検討、実施
- (7) 新入会員研修及び会員のスキルアップのための各種講習・研修の実施
- (8) グループ就業における会員の自主的役割の強化
- (9) SNSサービスの活用
- (10) ホームページ、LINE、会員クラウドサービスの有効活用
- (11) チラシ、リーフレット等の作成
- (12) 広報誌「シルバーはすだ」の発行
- (13) 全国シルバー人材センター事業協会の「普及啓発促進月間」活動の推進

第3次事業推進計画（2023年度を初年度とする5ヶ年計画）目標数値の一部変更

会員数(人)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)
目標 (当初)	502	504	506	508	510
目標 (変更後) ※1	—	—	—	508	522
実績	490	504			

※1) 全国シルバー人材センター事業協会は「新たな仲間づくり計画」において、令和7年度から令和12年度までの6年間で会員数をコロナ禍前の過去最高であった全国約79万2千人の水準まで回復することを目標として掲げており、全国の各センターに対して目標数値を定めました。これまで当センターでは第3次事業推進計画（当センターが策定した令和5年度を初年度とする5ヶ年計画）に基づき、会員数及び契約金額の目標を定めておりましたが、この度、全国シルバー人材センター事業協会が定めた目標数値を反映し変更することといたしました。

2 就業機会の拡大

センター事業の基盤の安定と発展には、会員の増強とともに就業機会の更なる確保拡大が必要不可欠です。このため会員の現況の把握に努めるとともに、地域社会における就業ニーズを把握し、行政や関係機関、民間企業、家庭等に対する就業機会の掘り起しを行うほか、独自事業の調査・研究等を進め、積極的な経営に取り組みます。

なかでも、女性会員が馴染みやすい仕事や、80歳を超える高齢会員が健康状態や体力に応じて無理なく就業できる短時間・短期間の業務や軽易な作業の受注拡大を図るとともに、複数人の共同就業やローテーション就業を推進する等、体力的負担の軽減に配慮した就業形態の整備に努めます。さらに、より多くの会員に就業機会を提供できるようワークシェアを推進します。

なお、就業機会の拡大のために有効と思われる、研修による会員の技能及びマナー向上については、「1 会員の増強」の項で述べたとおりです。

- (1) 民間企業への就業開拓
- (2) 公共業務の受注拡大
- (3) 高齢者世帯を支える業務の拡大
- (4) 子育て世代を支援する業務の拡大
- (5) 独自事業の調査・研究及び経営
- (6) 未就業会員への定期的フォローアップの実施

第3次事業推進計画（2023年度を初年度とする5ヶ年計画）目標数値の一部変更

就業率(%) (請負・派遣合)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)
目標 (当初)	95.1	95.2	95.3	95.4	95.5
目標 (変更後) ※2	—	—	—	90.1	90.2
実績	96.7	88.8			

※2) 業務システム変更に伴い令和6年度よりボランティア実績が就業実績から除外されることとなったため目標を変更いたします。

契約金額 (百万円)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)
目標	273	274	275	277	278
実績	273	283			

3 安全・適正就業の徹底

安全就業と適正就業は、シルバー事業遂行の主軸をなすものであり、安定した事業運営にはどちらも欠かせない両輪です。

「安全は全てに優先する」ことを基本に据え、会員の就業中の事故及び就業途上の交通事故等の防止並びに健康管理の推進に向けた対策の強化を図ります。

また、公益社団法人として、「適正就業ガイドライン」及び関係法令を遵守した適切かつ適正な契約に基づく就業形態を強化します。

さらに、フリーランス法施行に伴い、会員がより安心して就業することができるよう「包括的契約」への移行を推進します。

- (1) 安全就業基準等の周知及び安全就業に関する研修等の実施
- (2) 安全巡回パトロールの実施
- (3) 安全ひとこと宣言の募集等による安全意識向上への取り組み
- (4) 「適正就業ガイドライン」及び関係法令の遵守強化
- (5) フリーランス法施行に伴う包括的契約への移行の推進
- (6) ワークシェアリング、ローテーション就業の推進

4 地域に根差したセンターづくり

地域住民や行政機関、企業等と連携しながら、地域の活性化の核となる組織を目指すことで、会員の「いきがい」や「やりがい」の充実を図るとともに、地域に根差したセンターの実現を目指します。

- (1) 地域班・職群班によるボランティア活動の実施
- (2) 青色回転灯自主防犯パトロール（青パト）の実施
- (3) 蓮田市コミュニティ推進協議会への参加
- (4) 市内イベントへのボランティア等の参加
- (5) 蓮田市と懇談会を実施
- (6) 広報はすだ等配布業務の円滑な遂行

5 財政基盤の強化

就業先の開拓をはじめ、事業の見直しや現状に即した独自事業の創出により自主財源比率を高めるとともに、経常経費の見直しや事務の効率化などのコスト削減策を進めることにより、耐久性のある安定した事業運営の強化と財政基盤の構築を図ります。なかでも、令和5年10月に施行されたインボイス制度に適切に対応します。

なお、就業先の開拓及び独自事業の創出については「2 就業機会の拡大」の項で述べたとおりです。

6 組織運営の強化

センター事業を執行する5つの常設委員会が、関連する情報や動静を相互に共有し、連携することで、活動の強化を図ります。また、ICT（情報通信技術）を利用した業務の効率化を図ります。さらに他のシルバー人材センターと交流を深め、相互に発展を目指します。

- (1) 理事会、委員会、事務局の連携の強化
- (2) 会員の事業運営・経営への積極的参画の推進
- (3) 会員アンケートを実施し、会員の状況把握と満足度の向上を図る
- (4) ICT化（情報通信技術）による業務の効率化
- (5) 基幹システムを活用した事務処理体制の充実
- (6) 他のシルバー人材センターと交流及び情報共有

7 中期計画の推進および取り組みの評価

2023年度（令和5年度）から始まる5ヶ年の中期計画「第3次事業推進計画」を基本に作成した年度計画に基づき、会員、役員、職員一丸となって取

り組みを進め、その評価を行います。

また、役職員が定期的に事業の進捗状況を共有し、経過を会員に情報提供する等、全ての会員がその成果や課題を共通認識できるよう努めます。

なお、今期は2028年度（令和10年度）から始まる中期計画「第4次事業推進計画」作成のための準備に着手致します。